

平成 25 年度に係る部局達成状況評価

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 附属図書館 | 27. 低温センター |
| 2. 文学研究科・文学部 | 28. 超高圧電子顕微鏡センター |
| 3. 人間科学研究科・人間科学部 | 29. ラジオアイソトープ総合センター |
| 4. 外国語学部 | 30. 環境安全研究管理センター |
| 5. 法学研究科・法学部 | 31. 国際教育交流センター |
| 6. 経済学研究科・経済学部 | 32. 生物工学国際交流センター |
| 7. 理学研究科・理学部 | 33. 極限量子科学研究センター |
| 8. 医学系研究科・医学部（医学科） | 34. 太陽エネルギー化学研究センター |
| 9. 医学系研究科・医学部（保健学科） | 35. 総合学術博物館 |
| 10. 医学部附属病院 | 36. 保健センター |
| 11. 歯学研究科・歯学部 | 37. 臨床医工学融合研究教育センター |
| 12. 歯学部附属病院 | 38. コミュニケーションデザイン・センター |
| 13. 薬学研究科・薬学部 | 39. 金融・保険教育研究センター |
| 14. 工学研究科・工学部 | 40. 科学教育機器リノベーションセンター |
| 15. 基礎工学研究科・基礎工学部 | 41. グローバルコラボレーションセンター |
| 16. 言語文化研究科 | 42. 日本語日本文化教育センター |
| 17. 国際公共政策研究科 | 43. 環境イノベーションデザインセンター |
| 18. 情報科学研究科 | 44. ナノサイエンスデザイン教育研究センター |
| 19. 生命機能研究科 | 45. 知的財産センター |
| 20. 高等司法研究科 | 46. 核物理研究センター |
| 21. 連合小児発達学研究科 | 47. サイバーメディアセンター |
| 22. 微生物病研究所 | 48. レーザーエネルギー学研究センター |
| 23. 産業科学研究所 | 49. 免疫学フロンティア研究センター |
| 24. 蛋白質研究所 | 50. 全学教育推進機構 |
| 25. 社会経済研究所 | 51. 学際融合教育研究センター |
| 26. 接合科学研究所 | 52. 教育学習支援センター |

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:附属図書館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、総合図書館グローバル・コモンズでの試験期における24時間開館の試行、生命科学図書館ラーニング・コモンズ整備による全ての図書館におけるアクティブ・ラーニング環境の整備を行ったほか、キャリア支援図書に関して、新たに外国学図書館でもコーナーを設置し資料を提供するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、総合図書館グローバル・コモンズでの試験期における24時間開館について、平成26年度からの正式実施を決定するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、グローバル・コモンズの試験期における24時間開館の実施決定、アクティブ・ラーニング環境の整備など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:文学研究科・文学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、カリキュラム改革に向けた準備作業としての学部・研究科での開講科目とそのカテゴリーの総覧化、入学試験成績と卒業論文成績等の相関関係の調査を実施するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、卒業生、修了生約7000人に対するアンケート調査を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、内外の大学・研究機関等と共同研究を進めるため、「文学研究科国際的・社会連携型人文学研究教育クラスター」を創設し、5件の共同研究を採択しており、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、エラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム（ユーロカルチャー）の欧州域外協定校（フル・パートナー）として教員、学生の受入れを行うなど積極的に取り組んでいる。また、ヘキサゴン・プログラムに基づき、ハイデルベルク大学、ゲッティンゲン大学との国際ワークショップ等を通じた教員・学生の相互交流を実施するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、部局独自の基金を原資とした奨学金制度の設立による学生に対する支援、競争的外部資金を新規に獲得あるいは申請した教員への運営費交付金の割増配分など、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし
全体の項目に関する達成状況		【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、カリキュラム改革に向けた準備作業及び調査、教員・学生の国際交流、部局独自の奨学金制度を設立等、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:人間科学研究科・人間科学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、英語コースの科目を共通教育科目として提供し、263名の学生が受講したほか、秋期の大学院入試の時期を変更実施することにより志願者が増加するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、イングリッシュラウンジの開催（6回）や本館1階に新たにインターナショナル・カフェを設置し、学生らが多言語でコミュニケーションを行えるスペースを提供するなど、教育の国際化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が第10回(平成25年度)日本学術振興会賞を得たことは、大学の実績として評価できる。その他、9件の学会賞等の受賞するなど、研究成果は上がっている。 また、研究推進室が中心となって、研究分野を跨がった国際共同研究の協力体制を構築し、国際共同研究促進プログラムに応募した結果、2件が採択されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、教員免許状更新講習「教師に必要な新たな気づきと元気の共有」（必修領域）を実施し、小中学校教員のリカレント教育のニーズに応えたほか、心理教育相談室で1591件の相談を実施し、地域のメンタルヘルス向上に貢献するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大学院パンフレットの印刷を廃止し、ホームページの改訂をおこなうなど広報の方針を明確にし、研究倫理審査体制をすべての学系で整備し、倫理チェックを機能させ、留学生に対しては、メンタルヘルスカを継続的に実施しているなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、教育の国際化をすすめ、研究支援体制を強化するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:外国語学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、カリキュラム改革に向けた準備作業として、部局独自のFD企画を行い、到達度目標改訂案を策定したほか、キャリア形成教育の一環としてキャリア形成教育講演会を実施するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、海外研修中の学生の事故を題材に具体的な事例を想定することによって、教職員を対象に危機管理シミュレーションを実施し、リスク管理に関する啓発をするなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
全体の項目に関する達成状況		【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、到達度目標改訂案の策定、リスク管理に関する啓発など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:法学研究科・法学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、実際の授業を見たいという受験生の希望を踏まえて、「法学部授業紹介ビデオ」を本部広報課クリエイティブユニットの協力を得て作成し、大学説明会及び高校のキャンパス訪問において活用しており、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、学生自習室の全面改装・整備を行うほか、成績不振学生の発見と支援に関する枠組みを構築するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員の研究が、大阪に焦点を当てて日本の地方政治の変容を明らかにした異色の研究であるとの高い評価を得た結果、第35回サントリー学芸賞を受賞するなど、研究成果が上がっており、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、新たに忠南大学、ミュンスター大学、国立台湾大学、ハノイ法科大学、中国人民大学、タシケント法科大学と学術交流協定・学生交流覚書を締結し、学生受入の準備を整えるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、受験生の希望を踏まえて、「法学部授業紹介ビデオ」を作成し、大学説明会及び高校のキャンパス訪問において活用しているとともに、所属教員の研究が評価され、第35回サントリー学芸賞を受賞するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:経済学研究科・経済学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学部生の学術論文作成に対するインセンティブを喚起するため、懸賞論文制度（最優秀賞・優秀賞・特別賞）を活用しており、応募者数も増加するなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、4月1日に「イノベーション・マネジメント寄附講座」を設置し、特任教授1名と特任助教1名を配置し、イノベーション・マネジメントの重点教育研究を開始している。その教育研究活動の一環として、2回の公開特別講演会を主催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際交流活性化の一環として、学生受け入れ・派遣の推進を目的に大学間・部局間協定校を訪問するとともに、OB・OGネットワークを利用した留学生の呼び込み・受け入れを目的に、成績優秀な留学生の母校を訪問し広報活動を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、「イノベーション・マネジメント寄附講座」を設置し、イノベーション・マネジメントの重点教育研究を開始するほか、OB・OGネットワークを利用した留学生の呼び込み・受け入れを目的に、成績優秀な留学生の母校を訪問し広報活動を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:理学研究科・理学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学部コア科目のより充実した実施のため、部局独自のFDとして理学教育カリキュラム反省会を開催し（参加教員約60名）、学生代表からの要望も聞くなどして、コア科目のあり方について検討している。また、キャンパスライフ支援センターとの協力により、発達障害学生に対する対応についてのFDを独自に実施している。さらに、研究科長裁量経費により各学科で学部・大学院生・教員・卒業生を対象とした学部学生主導による学年縦断合宿を行い、キャリアパスについての交流会を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が、優れた研究成果をあげ若手研究者に対して授与される日本学術振興会賞および日本学士院学術奨励賞を受賞するなど、研究成果が上がっており、大学の業績として評価できる。 また、「サブアトミック科学科学拠点」計画での大強度ミュオンビーム源について、ミュオンビームラインの大規模施設拡張を行い、実験開始に向けた整備を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際交流支援として、留学生相談室の新規開設、専任の事務補佐員の雇用、国際交流サロンの整備及び活用開始、留学生個別面談の開催を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は教員の教育研究能力の一層の向上を図るため、業績に応じたインセンティブ付与も兼ねたサバティカル制度を新たに構築し、平成26年4月から1名利用を予定している。また、教員基礎データの更新について組織的に関与する仕組みを構築し、更新率を大幅に上昇させるとともに、教員業績評価等に活用するほか、研究科の現状分析や国際化をテーマとして理学懇話会を開催し、理学研究科のOBなど22名から意見聴取を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、継続して学部コア科目の実施について部局独自のFDを開催し検討を行うほか、外部者の意見を入れて今後の方針策定に活かすなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:医学系研究科・医学部(医学科)

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、選択実習において、附属病院での臨床実習に加えて、海外での臨床実習、地域医療実習、基礎医学研究など、学生のニーズにあわせた体験型実習を実施したほか、入試制度検討のためのワーキンググループを立ち上げ、前・後期入試の在り方、学士編入学入試の実施時期について検討を開始するなど、大学の実績として評価できる。 また、双方向的な講義、実習の充実のため、120名の学生が同時に利用できるコンピュータールームを新設するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が科学技術分野の文部科学省大臣賞を受賞するなど、研究成果が上がっており、大学の実績として評価できる。 また、テニュアポジションへの移行審査において高い評価を得たアプレンティス特任准教授1名について、テニュア准教授としての雇用を決定したほか、既存の独立准教授制度をテニュア・トラック制度に変更し、最大2名雇用できる体制を整備しテニュア・トラック准教授1～2名の公募を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、海外の大学・部局との国際交流として、新たにカロリンスカ研究所、国立台湾大学と学生交流覚書を締結し、国立台湾大学とは交換留学を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、情報発信のため工学研究科と共同で東京ブランチを設立し、社会への情報発信機能を強化するとともに、最先端医療イノベーションセンター棟を新規に建設し、入居する30の共同研究講座及びプロジェクトの募集・選定を行い、基礎研究からシーズの創出、育成、実証研究、実用化までをシームレスに繋げる体制を構築するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、入試制度検討のためワーキンググループを立ち上げ検討を開始するほか、テニュアトラック制度の整備、活用を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:医学系研究科・医学部(保健学科)

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、情報機器を活用した教育の取り組みとして、タブレット端末を用いて実習現場で自己学習ができる教材を開発し、実際に看護実習教育で活用するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、日本学術振興会先端研究拠点事業にてグローニンゲン大学、インディアナ大学に、複数の大学院生と若手教員を継続的に派遣し、粒子線治療に関して共同研究を推進したほか、保健学専攻内に設立しているオーストラリアの国際機関JBIの日本センター：Japan Centre for Evidence Based Practiceの活動の強化として、チェンマイ大学から教員を招聘し、セミナーを実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学生支援、教育研究環境の整備、社会・地域活動支援等のため、大阪大学未来基金目的指定基金「健康長寿イノベーション・医学研究事業（医学部保健学科・保健学専攻教育研究事業）」を創設している。また、医学系研究科附属ツインリサーチセンターにおいても、同センターにおける研究等の支援のため、大阪大学未来基金目的指定基金「ツインリサーチセンター研究事業（ふたごと創る健やかな日本の未来）」を創設するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、実習現場におけるタブレット端末を用いた自己学習教材の開発、国際的な研究活動の推進、教育・研究等支援のための未来基金の創設など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:医学部附属病院

項 目	コ メ ン ト
附属病院に関する項目 (大学の年度計画：15～17)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 (1) 教育・研究面 平成25年度は、大学病院として初めての創薬を加速する新しい技術であるPETマイクロドーズ試験の実施、医師主導治験2件を含む6件のトランスレーショナルリサーチの新たな開始、循環型の医師キャリア形成システム構築の着実な推進、ノンテクニカルスキルに関する教材を用いた教育の実施、種々の新教材開発による医療従事者の医療安全能力向上への貢献、看護実践能力を向上させるためのレベルや学習ニーズに応じたキャリア開発研修の実施などを行っており、大学の年度計画の達成に貢献している。 (2) 診療面 平成25年度は、遠隔相談システムを用いて、人員が不足している他施設に対する高度な専門知識に基づく継続的な遠隔診療支援を行ったほか、消化器センターの設置による内科的・外科的治療をシームレスに実施できる体制の構築、病理診断科の設置による院内の病理診断の強化と他機関からの依頼による病理診断の実施体制構築など、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、国内最多の症例数である22件の脳死・心停止下臓器移植を実施するほか、34例の生体臓器移植を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 (3) 運営面 平成25年度は、再開発企画整備室を設置し、病院の施設整備に対する取組を推進するとともに、国際医療センターを設置し、外国からの患者受入や医療関係者の研修について、支援体制の整備等を開始するほか、病院長のリーダーシップの下、各診療科等に対し、病院長ヒアリングや現場のラウンドを実施し、現状及び今後の診療方針等を確認し、必要に応じて医療従事者の増員や診療機器の更新を行うなど、経営の安定化を図っており、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:歯学研究科・歯学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、歯科保存学、口腔治療学、歯科補綴学第一、歯科補綴学第二においてPBLを実施し、体験型教育を中心とした口腔総合医療学を新たに設置するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、学部学生の短期海外研修を「国際歯科学演習」（選択科目）として単位化し、学生の海外派遣を推進するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪大学の3つの海外拠点、及びタイ感染症研究センター（RCC-ERI）の活動に参画・利用し、当該地域の機関との共同研究を推進しているほか、ヒト及びヒト由来の試料を対象とする疫学研究、臨床研究を実施する者、同研究の審査委員会委員等を対象として、研究倫理に関する講演会を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、口腔の難治性疾患の新規診断法、治療法、予後予測を包括的に扱う研究プロジェクトである「口の難病から挑むライフ・イノベーション」プロジェクト遂行のためオープンラボの増設を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、歯学部・歯学研究科・歯学部附属病院の研究・教育・臨床の成果を社会に発信するために毎年開催している市民フォーラムを、「美味しく、楽しく、上手に食べる ～子どもから大人まで～」と題して千里中央にて開催し、多くの出席者があるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、体験型教育を中心とした口腔総合医療学を新たに設置するほか、海外機関との共同研究の推進、研究倫理に関する講演会など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:歯学部附属病院

項 目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画：15～17)	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 (1) 教育・研究面 平成25年度は、安全・安心な歯科診療を推進できる人材育成と研修のため、スタッフディベロップメント (SD) を開催するほか、歯学研究科とともに「口の難病から挑むライフ・イノベーション」研究事業を推進した。臨床実習生及び研修歯科医に対し、屋根瓦方式の診療実習によって教育・研修効果の向上を図るなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 (2) 診療面 平成25年度は、先進歯科医療を推進しており、再生歯科医療の臨床研究は実施段階に到達している。診療科・部の実績と需要に合わせて医員配分を行いうほか、看護師を安定確保するための取組を行っている。患者サービスに対しては、古くて狭隘であった玄関回りの増改築を行い、受付、支払い、待ち合いの環境改善と時間外救急診療室の整備、並びに屋外の整備も行っている。 また、口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センターを設置し、口腔・顎顔面の先天異常に対して診療科横断的な包括診療が行える体制を整備するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 (3) 運営面 平成25年度は、健全で持続可能な病院経営を図るために、医療安全、感染制御と臨床研修に関しては病院相互評価を受けた。また外部委員で構成されるアドバイザーボードを開催し、指摘、助言を受けた項目を病院運営に反映させるほか、医療物品の購入に関しては、節減合理化対策委員会で検討し、効率的な購入と在庫管理を行うなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:薬学研究科・薬学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、前期日程と後期日程の募集人員の変更及び薬学部後期日程試験の面接試験回数の変更決定、創成薬学専攻の入試検証に基づく、特別選抜や試験科目及び実施時期等の大幅変更を行ったほか、新たに阪大ならではの先導的医療人育成に向けた取組（PharmDコース）を構想し、医学系研究科及びMEIセンターとの連携のもと、平成25年度から開講するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究支援のためのFD・研究科セミナーを7回開催し、延べ397名参加者があるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、テニュアトラック制度（アプレンティスプログラム）にて雇用してきた特任准教授1名を薬学研究科准教授として採用したほか、新たに任期付き教員を11名を新規雇用するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、従来より実施してきたキャリアアップレクチャー、卒後研修会、公開講座を発展的に融合し、薬学部同窓会と連携した卒後研修会として、計7回開催し、延べ521名の参加者があるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究推進会議及び教育推進会議において、大型プロジェクトの申請・資金獲得を掌握し、大型プロジェクトへの申請を行っており、この活動により、寄附講座の設置申請につながるなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、入学試験の検証と改善、研究支援のためのFD・研究科セミナーの実施、同窓会と連携した卒後研修会の実施など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:工学研究科・工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、複数配点方式を採用した新しい選抜方式によって入学した学生の追跡調査を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、学内の共同研究講座・協働研究所の研究員との課題解決型学習を実施する体制を整えるとともに、海外研修によるグローバルな視点を有するリーダーとなる技術者・研究者の育成を図っているほか、エラスムス・ドスコース（MAPNET）」でのダブル・デグリー授与制度の構築、e-learning英語教育を実施する学科（コース）数を増やして学部高学年時の英語教育にも注力するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、95件の国際会議の主催または共催による実施、専攻、研究科の枠を越えた横断的組織な研究活動（合計14件、新規2件）への財政的支援を行ったほか、テニュアトラック事業の実施に関して、3名のテニュアトラック教員を採用し、18名のテニュアトラック教員が在籍（平成26年2月1日現在）し、外部資金の獲得や各種賞の受賞などの成果を上げるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「第6回共同研究講座シンポジウム」を開催し、他大学や独立行政法人の他、国・地方公共団体の行政機関や企業に、本学発の産学連携の取り組みである共同研究講座制度のノウハウを発信するほか、フロンティア研究棟（FRC）やフォトニクスセンター及びサステイナビリティ・オンサイト研究センターが産業界や他の研究機関との共同研究拠点として活用されており、これらの拠点で合計17件の共同研究を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、競争的資金の獲得に向けて研究者を支援する為の戦略支援部を設置したほか、限りある資源を有効に活用し、教育と研究を強力に支援するため、事務業務の効率化を進め、更に効率化を図るため事務効率化推進室を立ち上げるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、積極的な国際会議の開催、新任研修会の実施、テニュアトラック事業の推進、共同研究講座の情報発信など、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、部局経費、JASSOの留学生交流支援制度、国立大学改革強化推進補助金等の各種制度を利用して、海外機関との学生の受入、派遣を実施するほか、留学生相談室において、教員2名、職員1名、チューター延べ61名の体制で留学生の学習、生活の支援を実施するとともに、新たに留学生支援TAを雇用し、学習支援を強化する、また、文科省理数学生育成支援事業によりオーナープログラムを展開するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、未来研究ラボシステムにおいて、新たに3件の基盤拠点研究、1件の展開研究、4件の若手研究の課題を採択し、継続課題を含めて、17件の研究課題に間接経費（総額1,400万円）を配分し、学際融合研究を推進するほか、「量子機能融合による未来型材料創出事業」において、10件の国際共同研究を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、カリフォルニア大学バークレー校、トロント大学、スウェーデン王立工科大学、シンガポール国立大学、および基礎工学部の学部長等による「1st International Engineering Science Consortium Meeting」を2013年12月6日に開催し、5大学間の教育・研究交流について検討を行うとともに、当該基礎工学国際コンソーシアムのホームページを開設し、コンソーシアムの活動を広く公開するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、間接経費等を、研究科長のリーダーシップの下で、研究科独自の複合学際研究領域支援（未来研究ラボシステム）やプロジェクト研究の基盤整備、競争的資金獲得推進経費に充当するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、研究科全体および全専攻領域の各単位における、20名の外部委員による外部評価の実施、初任者FDやハラスメント防止研修会等の各種FDの実施、学生版「地震発生時の初動マニュアル」の作成と配布など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、研究科独自の複合学際研究領域支援（未来研究ラボシステム）への間接経費等の充当による学際融合研究を推進や、基礎工学国際コンソーシアムによる国際交流の実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:言語文化研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、既存の大学院高度副プログラムを継続して開講するとともに、新規の大学院高度副プログラムの開講、知のジムナスティックス科目への研究科の58科目の提供、高学年次生の外国語教育を充実させるため、知のジムナスティックス科目への、共通教育外国語科目の上級科目（14科目）の提供のほか、日本語・日本文化専攻実践コースでは、専門領域に偏らない基礎知識を測るために専門領域の出題に加え2系域の基礎問題を解答させる入試システムに変更するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業-カップリング・インターンシップによる実践形グローバル人材形成」の活動として、広域アジア地域へのインターンシップ派遣プログラムであるカップリング・インターンシップを本格的に開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、外国人教員を4名、外国人特任教員8名を採用するとともに女性教員については、5名採用するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、基盤的研究を推進するため「言語文化共同研究プロジェクト」を18件立ち上げ、これらにRA経費や研究成果報告書出版の予算を配分しており、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、高度副プログラムの開講、知のジムナスティックス科目の提供を行うとともに、入試システムの変更を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:国際公共政策研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、全世界で実施する英語による教養試験「ブルームバーグ・アプティチュード・テスト」を日本国内で他に先駆けて実施したほか、平成26年2月にグローニンゲン大学人文学部との間で、本学の新ガイドラインの下での最初のダブルディグリー協定を交わし、修士課程の学生の受入れと派遣を実施する仕組みを確立するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「頭脳循環」事業による南アフリカの大学との国際共同研究と若手研究者の育成事業の推進、日蘭二国間研究推進の補助金の獲得による、オランダのライデン大学、グローニンゲン大学、クリンゲンタール研究所との「人間の安全保障」に関する国際共同研究の実施など、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、「平和構築と人間の安全保障」といった大きなテーマのもと、複数の事業を有機的・体系的に結びつけた研究事業を実施し、研究の相乗効果を図るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪府商工労働部と包括連携協定を、兵庫高校及び天王寺高校と国際問題に関する教育連携協定を締結するなど、大学の実績として評価できる。 また、民間財団・企業からの寄附科目を運営し、海外の大学・研究機関・政府との連携セミナーなどを一般公開で多数回開催した。国際交流基金関西国際センターの要請による途上国からの研修生向け日本理解講座、大阪国際交流センター、大学コンソーシアム大阪等の要請による社会人、他大学生、高校生向け国際理解講座等も実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、全世界で実施する英語による教養試験「ブルームバーグ・アプティチュード・テスト」の日本国内で他に先駆けての実施、グローニンゲン大学人文学部との間でのダブルディグリー協定の締結と実施体制の構築など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:情報科学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、リーディング大学院プログラムである「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」を開始し、俯瞰力、独創力を備えグローバルに活躍のできるリーダーの養成や新しい情報システムを構想できる技術者・研究者を養成するための教育プログラムを設計するため、カリキュラムの調整を行っている。（履修生受け入れ28名、Pre-QE（博士の学位取得に向けた予備審査）合格者24名。）また、英語だけで修了を可能とする英語コースを設置し、26年度学生受け入れを決定するなど、積極的に取り組んでおり、大学の成果として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際共同研究の38件を推進したほか、HP、研究者向けメーリングリストにより国際公募を実施し、意欲のある女性研究者の積極的な応募を求めるため、教員公募の際に記載し、公募6件を行うなど、積極的に取り組んでいるほか、所属教員が山下記念研究賞を受賞するなど、研究成果が上がっており、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、NTT等との技術交流会の開催を契機に、情報科学研究科が事務局となって共同研究の可能性を目指したマッチング活動を行った結果、大学全体で3件（うち1件は情報科学研究科）のマッチングが成立するなど、積極的に取り組んでおり大学の成果として評価できる。 また、融合科学を国際的視野で先導する人材の育成（PRIUS）プログラムを発展し、インターンシップ、若手教員海外派遣、海外渡航助成などの事業により16名の若手教員、学生を海外に派遣するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究科の教員裁量ポストの再設定に関し、専攻長会、計画委員会を通じて研究科の将来像を含めて議論を行い、教員配置に対する基本的な方針を決定したほか、建設計画が認められた第三期棟の建設の具体的な建築・設計を行うなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、リーディング大学院プログラムである「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」の開始、デザイン力養成のための教育として、インタラクティブ創成工学基礎演習の実施、38件の国際共同研究の実施、企業とのマッチング活動など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:生命機能研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、優秀な学生を集めるために、平成24年度に抜本的に改正した入試制度（専門試験の廃止など）を引き続き実施するとともに、『春の学校』と『夏の学校』を開催し研究指向の高い学部生との対話を開始している。また、リーディング大学院プログラムや「卓越した大学院拠点形成支援補助金」の柔軟な活用による学生の経済支援や国際化の推進を推進した。さらに、優秀な海外留学生を勧誘するためTAによる支援をした結果、平成26年度に入学する留学生の予定数が12名と継続して増加傾向を示すなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「生命動態イメージングによる最先端生命科学の推進」が5年間のプロジェクトとして採択されたほか、平成24年度に採択された「生命動態イメージング棟」の建設が開始され、阪大-理研の連携プロジェクトを吹田キャンパス内で実施する計画が実現可能になった。また、47件の国際共同研究を推進したほか、脳情報通信融合研究棟が完成し、阪大-NICT-ATRの連携研究が本格的に開始するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学生主催の合宿形式異分野融合研究交流会に海外の学生・若手研究員を招へいして、本研究科の学生や若手研究者との異分野・異文化交流を推進した。また、複数の国際学術集会を主催あるいは共催、学生や若手の海外派遣により一層の国際交流推進に努めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、「生命動態イメージングによる最先端生命科学の推進」採択、「生命動態イメージング棟」の建設開始、阪大-NICT-ATRの連携研究の本格的な開始など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名: 高等司法研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、知的財産センターと協力して、臨床法実務教育拠点「智適塾」を設置した。智適塾においては、特殊講義「特許関係訴訟」の教材開発を進めたほか、臨床教育の教材作成の素材となる学内の研究支援、法務支援の取り組みを開始し、平成25年度中に5件の相談等に着手した。また、新たなFDの取組みとして、他大学法科大学院の教員を招いた模擬授業の見学会、意見交換会を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究推進のためのFD活動として、月例のランチミーティングを7回実施した。このほか、共同研究推進のための懇談会（サパーミーティング）を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、研究推進のためのFD活動、共同研究推進のための懇談会を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:連合小児発達学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、千葉大学、福井大学の参加により新たな演習を2科目加えた計12科目を開講し、演習内容を充実させるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、カナダ・トロント大学等との国際共同研究を実施するなど積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、社会性発達の客観的評価補助装置GazeFinderを用いた発達障害早期気づき支援のための実証研究を佐賀市、大阪府、名古屋学芸大学等で開始し、特に佐賀市では1歳6か月健診の現場に導入し、200名を超える乳幼児のデータを取得し、実証研究の中間報告会を開催するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪府の発達障がい施策の一部として、保健師研修のコーディネート（講師の選定から研修内容の企画・立案まで全て）を請け負い、169名の府内保健師を動員した。また発達障害専門医師研修の企画・立案にも参加し、2名の教員が講師として貢献した。さらに、堺市における発達相談事業では平成25年度は来談者数が約1.2倍になり、活動が高く評価され、平成26年度は堺市からの発達障害児支援研究に係る受託研究の受入金額が約3倍に増額することになるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、自己点検・評価を実施し、さらに次年度以降は、目標の設定やそれに対する達成度を客観的に点検し評価をしやすいなどして自己点検・評価の方法自体を見直すことを決定するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、カナダ・トロント大学等と国際共同研究を実施するほか、大阪府の発達障がい事業、堺市の発達相談事業など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:微生物病研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム」に基づき、タイ保健省医科学局およびマヒドン大学に設置した感染症研究センターにおいて、熱帯感染症に関する国際共同研究を継続進展させたほか、マヒドン大学熱帯学部を中核として人獣共通感染症のネットワークの構築に取り組むなど、積極的に取り組んでいる。また、所属教員が文部科学大臣表彰および第56回野口英世記念医学賞を受賞したほか、共同利用・共同研究拠点の中間評価でS評価を得るなど、成果が上がっており、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、研究所内に設置された感染症国際研究センターとタイに設置された微研海外拠点が連携し、我が国の医療機関に勤務する若手医師を対象とした熱帯感染症研修をタイ国ミャンマー国境およびバンコクにて実施し、我が国における熱帯感染症予防・治療体制の強化に貢献するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、タイ保健省医科学局およびマヒドン大学に設置した感染症研究センターでの国際共同研究や、マヒドン大学熱帯学部を中核とした人獣共通感染症のネットワークの構築に取り組むなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:産業科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、部局予算の組み替えにより、R A予算を大幅に確保するなどし、博士後期課程学生への経済的支援100%を達成するなど、大学の実績として評価できる。 また、キャリア形成教育事業を推進すべくJSPS「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」などの経費を用い、教員・学生の派遣及び大学院生・若手研究者の中長期海外インターンシップを行い、キャリア形成を支援するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、新たにアーヘン工科大学、ビーレフェルト大学との間に連携研究ラボを設置し、国際的な共同研究を推進したほか、インキュベーション棟に入居している16社との共同研究を実施し、プリントドエレクトロニクスや太陽電池関連の研究では、実用化に至るなど、積極的に取り組んでいる。また、所属教員が日本学術振興会賞、ゴットフリード・ワグネル賞最優秀賞などを受賞するなど成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、文部科学省大型プロジェクト革新的イノベーション創出事業(COI STREAM)への採択を受けて、COI参画企業との連携体制を強化するため、企業リサーチパークの積極的な利用を促進した結果、COI参画企業による10室、462㎡の利用計画を策定するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、本部広報・社会学連携オフィスと連携して、阪大初の定例記者会見(毎月開催)を開始し、報道件数が昨年の2.3倍に増加するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、博士後期課程学生全員への経済的支援、COI参画企業との連携体制強化、阪大初の定例記者会見(毎月開催)の実施など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:蛋白質研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点の事業の一環として国際共同研究を11件行ったほか、2名の准教授が米国 Rebeiz 財団による賞を受賞するなど、大学の実績として評価できる。 また、「生命分子素子から生命システムの全体像を解き明かす多次元国際研究」において新規技術開発に成功し、その成果が主要な科学ジャーナルに公表されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業の一環として、平成24年度補正予算の設備整備費により処置された高磁場・感度固体NMRを中心とした装置群の設置・運用が平成25年度に完了し、産業利用プログラムをスタートさせるなど、適正に実施している。また、共同利用・共同研究拠点に対する中間評価においてA評価を受けるなど、研究成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所長補佐会議などで事務組織の機能や編成を検証し、事務長を中心とした業務効率の改善策を積極的に行い、職員の残業の減少につなげている。また、運営協議会ならびに専門委員会や外部委員から研究所の運営、及び共同研究・共同利用に関して評価を受けるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点の事業の一環として国際共同研究を11件行ったほか、「生命分子素子から生命システムの全体像を解き明かす多次元国際研究」の成果が主要な科学ジャーナルに公表され、その内容はテレビや新聞各紙に取り上げられるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:社会経済研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、経済学研究科に21科目の授業を提供し、博士前期課程授業科目のコア科目のうち2科目（ミクロ経済Ⅰ, 同Ⅱ）と経済学特論3科目を英語で行った。また、大学院新入生のための数学準備コースとして「経済数学補習授業」を日本語と英語の両方で行った。さらに、32名の大学院生を指導するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際共同研究25件を実施したほか、グローバルCOE「人間行動と社会経済のダイナミクス」を引き継ぎ、行動経済学の研究を推進し、国際大規模アンケート調査の実施や多数の経済実験（18回、延被験者2,524名）及び神経経済学実験（4回、延被験者25名）を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国・独立行政法人関係35件、地方公共団体関係3件、民間企業・財団法人関係10件の各種審議会・委員会委員に就任し、研究成果を生かして、各界における経済政策等の企画・立案への助言、提言を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、国際共同研究25件を実施したほか、行動経済学の研究を推進し、国際大規模アンケート調査の実施や多数の実験を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:接合科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、文部科学省特別経費による「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業」プロジェクトを推進し、インドネシア大学、ハノイ工科大学、カセサート大学の3か国3機関でカップリング・インターンシップを実施し、実践型グローバル人材を育成するほか、国際溶接技術者(IWE)コースにおいて、修了生11名のうち8名が国際溶接学会（IIW）資格日本認証機構による最終試験に合格し、世界で通用するIWE資格を取得するなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、摩擦攪拌接合に関する研究論文が溶接・接合界の最高峰誌である、Science and Technology of Welding and JoiningからBest Paper Award（論文賞）を受賞し、新聞紙にも多数の関連記事が掲載されている。また、学術交流協定締結先を中心に5機関から研究者36名を招き国際共同研究等を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点等の機能を通じて、本学のバンコク教育研究センターを活用しながら「東アジア接合研究連携拠点ネットワーク形成事業」を推進した結果、香港城市大学、ハノイ工科大学、カセサート大学、タイ国立科学技術開発庁、ベトナム国家大学ハノイ校、デラサール大学、オークランド工科大学との学術交流協定を締結するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所長のリーダーシップの下、競争的資金の間接経費や所長のリーダーシップ経費等を利用して、業績評価を踏まえて16名の若手研究者に研究費の重点配分を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、溶接・接合界の最高峰誌からのBest Paper Award（論文賞）の受賞、国際共同研究等の実施、業績評価を踏まえた若手研究者への研究費の重点配分など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:低温センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進することで、省資源や省エネルギーに配慮しながら、安価で安定した液体ヘリウムの供給を行っている。豊中キャンパスで建設中の文理融合型研究拠点施設とのヘリウムガス回収配管を総長裁量経費の戦略的経費にて設置し、ヘリウムガスのリサイクル利用のさらなる強化を行ったほか、理学研究科と協力して分析用NMRのヘリウムガス回収ラインの改良を行い、回収率を59%から87%に向上させている。また、豊中キャンパスの低温センター利用者に対して評価・要望シートを配布して、利用者からの評価・意見を聴取し、改善点等の検討を行い、今後の本センター運営の指針を検討するなど、積極的に取り組んでいる。 さらに、技術職員退職後の業務実施について、新たな技術職員に対する教育と技術継承を行うなど、適切に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進することで、省資源や省エネルギーに取り組んだほか、利用者からの意見聴取と改善点の検討を行うなど、積極的に取り組んでいる。 さらに、職員退職後の業務実施について、技術継承を進めるなど、適切に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:超高压電子顕微鏡センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)」によって、共同研究5件を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、「ナノテクノロジープラットフォーム事業」により、新規設備であるクライオ電子顕微鏡を導入し、生体、高分子材料等のソフトマテリアルに広く対応できる研究環境を整備するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、電子顕微鏡基礎研究共同研究部門において、電子顕微鏡メーカー2社から特任教員を採用して共同研究体制を確立し、次世代電子顕微鏡要素技術としての「パルス電子顕微鏡用フォトカソードの開発」に関する共同研究を実施し、装置の開発目標設定・装置設計・試作を開始するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、2件の国際共同研究を実施したほか、「超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)」によって、共同研究5件を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:ラジオアイソトープ総合センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、RIを用いた分子イメージング研究施設の研究者、安全管理担当者を対象にした「第3回分子イメージングに関する教育研修プログラム」を開催したほか、豊中市及び吹田市の消防署員への放射線安全教育講習会を計6回実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、環境安全研究管理センター、安全衛生管理部と連携して、労働安全衛生法に基づき作業環境測定を実施したほか、放射線障害防止法で規定する教育及び訓練をセンター主催で11回、各部局と共催・及び講師派遣による協力で7回開催し、延べ2,510名の受講者があるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、労働安全衛生法に基づく作業環境測定、放射線障害防止法で規定する教育及び訓練を実施するほか、RIを用いた分子イメージング研究施設の研究者、安全管理担当者を対象にした研修会を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:環境安全研究管理センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、ラジオアイソトープ総合センター、安全衛生管理部と連携して、労働安全衛生法に基づき作業環境測定を実施し、その結果を関係部局にフィードバックしたほか、PRTR法、特定化学物質障害予防規則及び有機溶剤中毒予防規則、大阪府生活環境の保全等に関する条例などの各法令に基づく届出等について、適切に対応している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、労働安全衛生法、PRTR法、特定化学物質障害予防規則及び有機溶剤中毒予防規則、大阪府生活環境の保全等に関する条例等に適切に対応している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:国際教育交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、留学生を対象としたキャリア形成教育について、「専門日本語」（全学共通教育科目）と「ビジネス日本語講義」を開講するとともに、留学生のためのキャリア支援のあり方について、アンケート調査を行い、具体的支援策の検討を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、超域イノベーション博士課程プログラムに対し、専門日本語科目4科目を春学期と秋学期ともに提供するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、離散値駆動型マニピュレータおよび自律分散型移動体システムの研究に関して、ジョンズ・ホプキンス大学工学研究科との国際共同共同研究を開始したほか、日尼対照言語学的研究に関して、インドネシアとの国際共同研究に参画するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、JASSOの支援を受けたコンソーシアムSVプログラムとして、日韓の学生が寝食を共にして学ぶ「日韓学生会議」におけるワークショップに協力しており、「阪神地区大学国際化推進ネットワーク」（神大・阪大・関大・関学大）から日本人学生10名が渡韓しソウル慶熙大学校において韓国慶熙大学校、漢陽大学校の学生12名とともにを行っている。運営にあたっては学生交流推進課の協力のもと本センター教員がコーディネートに当たり、関大国際センター教員とともに渡韓するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、留学生を対象としたキャリア形成教育として科目を開講するとともに、留学生のためのキャリア支援のあり方について調査・検討を行っている。また、海外との国際共同研究を実施し、またそれらに参画するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:生物工学国際交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、ユネスコ・文部科学省支援の下で、次世代の人材育成プログラムである「UNESCO Biotechnology School in Asia」事業を開始し、研修生7名を各14日間受け入れるとともに、1年間日本にて研修を行う4名についても、研修を開始するなど、海外との人材の受け入れと派遣に積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、日本学術振興会「アジア研究教育拠点事業」として「亜熱帯微生物資源を活用する次世代物造りバイオ技術の構築」を実施し、タイ4大学・1政府研究機関、ベトナム1国立大学、カンボジア1国立大学及びラオス科学技術庁と協力し、ジョイントシンポジウムと若手育成セミナーを大阪大学で、シンポジウムをラオスで開催した。また、外国人研究員2名、外国人招聘研究員4名を招聘し、共同研究を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、近隣府立高校に対する教育を行ったほか、タイのサイエンススクール指定高校の生徒（16名）を受け入れるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、ユネスコ、文部科学省等の支援により、海外との学生の受入・派遣を実施している。また、海外の大学等と連携してシンポジウム・セミナーを実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:極限量子科学研究センター

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、華中科学技術大学より講師を招聘し共同研究を実施するとともに、ロシア科学アカデミー、ドレスデン強磁場研究所等と国際共同研究を推進するほか、福井大学遠赤外領域開発研究センターと連携・協力協定を締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。センター解消後も引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、センターを発展的に解消し、基礎工学研究科附属極限科学センター、同未来研究推進センター及び理学研究科附属先端強磁場科学研究センターに分かれ、それぞれの研究科と密接な関係を持ちつつ研究を進めていく体制を整備するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:太陽エネルギー化学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、基礎工学研究科・基礎工学部の協力講座として学生の指導を行い、また関連する他のプログラムやセンターに協力するなど適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、文理融合型研究棟内に186平米のセンター研究室スペースを確保し、26年度からの研究の新たな発展ならびにプロジェクト研究等の推進に向けた準備を進めたほか、有名国際誌において3件の研究論文が注目論文として紹介されるとともに、国内外の学会講演会において4件の発表が優秀研究賞等を受賞するなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、企業との共同研究を、企業資金により3件、A-STEPシーズ顕在化研究（JST）として1件実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、文理融合型研究棟内に研究室スペースを確保し、研究体制を整えたほか、有名国際誌において3件の研究論文が注目論文として紹介されるとともに、国内外の学会講演会において、4件の発表が優秀研究賞等を受賞するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:総合学術博物館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、広く学生、市民とのコミュニケーションの場としての博物館活動を充実させ、学内教育に関して共通教育科目の基礎セミナー「博物館体験コース」を開講するとともに、学芸員資格取得の単位数改正にともない学内での博物館実習を実施した。また、豊中キャンパス内の絵画、彫刻、オブジェ等のアートルソース調査を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、館員の研究成果を展覧会につなげ、1950～60年代に大阪で繰り広げられた先進的な活動を紹介する文理融合型展覧会として第16回企画展「オオサカがとんがっていた時代―戦後大阪の前衛美術 焼け跡から万博前夜まで―」開催するなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、定例の特別展・企画展に加え、第17回企画展「野中古墳と「倭の五王」の時代」などを実施し、20,429人の入館者数を得ている。また、展覧会に関連し、大学博物館の在り方や研究教育におけるミッションを広く社会に発信するための講演会として、『大学博物館、街に出る「これでいいのか？大阪のミュージアム―地域文化と学術研究の担い手を目指して―」など、41回のシンポジウム・公開講座等の各種イベントを行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、高機能収蔵庫収蔵（修学館横）の運用を開始し、適塾記念センターと協力して適塾関連資料を収蔵するとともに、文学研究科考古学教室が所有する甲冑などの鉄製武具の貴重資料の収蔵も進めたほか、寄託された具体美術協会関係資料を収蔵するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、定例の特別展・企画展に加え、「野中古墳と「倭の五王」の時代」という特色ある企画展を実施し、20,429人の入館者数を得るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:保健センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、保健センターの学生相談室では、心理カウンセラーが中心となり、2,196件の相談に対応したほか、健康を保つ上での必要な情報提供の一貫として、新入生健診及び学生健診において、特にアレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎など）に対して、個別面談を行い、生活上のアドバイスを約300名に行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪大学未来戦略にもある禁煙推進について、安全衛生管理部・本部クリエイティブユニットと連携し、禁煙治療についての広告媒体（ポスター・チラシ）制作を行ったほか、復職支援として復職後も1回から6回までの産業医面談を行い、より円滑な復職支援を継続して実施し、休職だけでなく、病休後の復職にあたっても、メンタルヘルスに由来する場合には、継続して産業医面談を取り入れるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、学生相談室での心理カウンセラーによる相談の実施、新入生、学生健診における、アレルギー疾患等の個別面談、禁煙治療についての広告媒体作成、復職支援としての産業医面談など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:臨床医工学融合研究教育センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、前期課程対象プログラムとして、専門科は「バイオメディカルインフォマティクス」、「バイオマテリアル学」、「高度診断治療工学」を、高度職業人育成科は「クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース」、「分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース」「予測社会医学プロフェッショナル育成コース」「医工連携がん研究プロフェッショナル育成コース」を実開講し、大学院高度副プログラムに参画するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、平成24年10月に設置した共同研究部門について、平成26年3月に竣工した最先端医療イノベーションセンターを平成26年4月から活用して共同研究ができるように準備した。また、平成25年4月に設置した共同研究部門については、産学連携A棟を平成25年4月から活用して共同研究を開始するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、「医・工・情報連携によるハイブリット医工学産学連携拠点整備事業ー医工情報連携センター構築にむけてー」をさらに推進させ、3年目となる今年度は特にワークショップやシンポジウムを開催するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、公開講座（土曜スキルアップ講座）を関西地域教育機関にも提供し、5コース（うち18サブコース）の提供により、受講生は合計は延べ589名となっている。 また、統合生命科学・生体医工学の研究推進に関する国際共同宣言「大阪宣言」を締結したオークランド大学教授、オックスフォード大学名誉教授、フランス細胞分子薬理研究所名誉教授を今年度も引き続き、海外客員教授の称号を授与し、引き続いて連携を進めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、6回の医工情報連携シンポジウムを開催し、本学および国内外の他施設の研究者による講演を通じて、部局横断的な共同研究、および博士課程後期学生や若手研究者の人材育成に寄与するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、大学院高度副プログラムへの参画、最先端医療イノベーションセンター及び産学連携A棟を利用した共同研究部門での研究体制の整備、公開講座の実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:コミュニケーションデザイン・センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、全学のFD検討ワーキングに参加し、全学対象のFDの計画と検討に携わったほか、毎月コミュニケーションデザイン研究会を開催し、学内外でのコミュニケーションデザインに関する教育活動について改善等を図るなど、大学の実績として評価できる。また、新たに副専攻・高度副プログラム「公共圏における科学技術政策」の立ち上げに関わるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 京阪なにわ橋駅地下1階「アートエリアB1」で開催する「ラボカフェ」を78回、学内のオレンジショップを利用した「オレンジカフェ」を29回開催したほか、アサヒグループホールディングスとの共同研究においてイベント企画を8回開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、全学教育推進機構大学院横断教育部門において、大学院横断教育科目の拡充や知のジムナスティックス（高度教養プログラム）の規程化など、大学院横断教育に関わる諸課題の検討に深く関わるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、全学のFD検討ワーキングに参加し、全学対象のFDの計画と検討に携わったほか、大学院横断教育科目の拡充や知のジムナスティックス（高度教養プログラム）の規程化など、大学院横断教育に関わる諸課題の検討に深く関わるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:金融・保険教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、情報科学研究科、国立情報学研究所GRACEセンターとの協同で、文部科学省特別経費による人材育成事業「ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発」として高度副プログラム「ソフトウェアイノベーション先導（ファイナンス・ソフトウェア・コース）」を提供していることは、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、未来研究イニシアティブの研究課題として、金融市場におけるリスクと資本市場の効率的な運営に関わる問題を研究テーマに掲げた「リスク解析・資本市場研究グループ」を立ち上げ、支援事業として採択されるなど、大学の年度計画の達成に貢献している。 また、金融市場の代表的リスク指標であるボラティリティ・インデックスの日本版（VXJ）をweb上で継続して公開するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、金融・保険における研究動向と実務からの要請を的確に受けとめるための情報交換と人的交流を目的とした、実務家を交えた社会学連携の「中之島ワークショップ」を開催したほか、急速に改革がすすむ金融市場に関わる諸問題に関するワークショップを中之島センターにおいて開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、教育面においては、高度副プログラム「ソフトウェアイノベーション先導」を提供し、研究面では、未来研究イニシアティブの研究課題として、「リスク解析・資本市場研究グループ」を立ち上げ、支援事業として採択されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:科学教育機器リノベーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、利用者自らが装置を扱えるよう、利用者向けの機器リユース講習会を開催するとともに、新たに10機種について修理・バージョンアップを行い、合計81機種のリユース機器を学内共同利用に供する研究支援を行った。また、革新的教育研究基盤機器開発整備事業で開発された7機種について、共同研究等による学内における共同利用の試行を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は着実に遂行されていると判断できる。引き続き、計画が順調に達成されるよう取り組むことを期待する。 【特記事項】 平成25年度は、利用者自らが装置を扱えるよう、利用者向けの機器リユース講習会を開催するとともに、新たに10機種について修理・バージョンアップを行い、合計81機種のリユース機器を学内共同利用に供する研究支援を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:グローバルコラボレーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、7つの大学院等高度副プログラムとグローバルコラボレーション科目を全学に提供し、全学の横断的な教育に貢献するとともに、未来戦略機構のリーディング大学院「超域イノベーション博士課程プログラム」「未来共生イノベーター博士課程プログラム」に協力するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際協力グループが中心となって、複数の国際共同研究を実施し、大型のプロジェクトとして、SATREPS（JST-JICA）「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、外国人児童生徒の学習支援をハロハロスクエアとして、吹田市国際交流協会と共同事業を行ったほか、足もとの国際化連続セミナーとして、セミナー「多様性が生きる社会とは？」及び、多様性のミニパブリックス：サミット2014「私たちの、明日の私たちへの提言」を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、英語版HPを、海外へ向けた発信・紹介を行う内容にリニューアルするなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、7つの大学院等高度副プログラムとグローバルコラボレーション科目を全学に提供し、全学の横断的な教育に貢献するとともに、足もとの国際化連続セミナーとして、セミナー「多様性が生きる社会とは？」を開催するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:日本語日本文化教育センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際交流に尽力した留学生と日本人学生を表彰するために、新たに「大阪大学日本語日本文化教育センター国際交流顕彰」を制定したことは、大学の実績として評価できる。 また、留学生用教材として、『くずし字で読む百人一首かるた（続）』等5点を新規教材として発行するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、インドネシアの4大学の教員と共同研究「新たな言語研究方法モデルについての試行的研究 インドネシア人研究者との共同研究を通して」を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、言語文化研究科の協力を得て、キエフ国立大学との間で部局間学術交流協定を締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、女性の専任教員4名（特任助教1名を含む）を新たに採用し、専任教員に占める女性の割合が30%となるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、新たに「大阪大学日本語日本文化教育センター国際交流顕彰」を制定したことは、大学の実績として評価できる。また、キエフ国立大学との間で部局間学術交流協定を締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:環境イノベーションデザインセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、実践型科目の新規開講、東京大学、京都大学、北海道大学、茨城大学との連携による遠隔講義や公開講座の実施など、社会のニーズに対応する教育機会を提供することで「環境イノベーションデザイン学」プログラムの内容を充実する、学生環境サークルの要請に応じ、学生、教員、職員連携会議を開催して環境活動についての意見交換を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学内外の研究者の連携、自治体との研究交流を通じて14件の研究プロジェクトを立ち上げ、環境・サステナビリティ分野における新たな研究領域（メゾ領域研究）を推進するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、吹田市との包括協定に基づき、吹田市をテーマにした研究成果を発表する公開シンポジウムを共催し、また、社会人公開講座を開講するなど研究教育の観点から社会貢献を推進するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、環境エネルギー管理部と協働し、電力消費可視化システムの稼働やその分析などを通じて大阪大学の省エネ目標達成に貢献するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、吹田市との包括協定に基づき、吹田市をテーマにした研究成果を発表する公開シンポジウムを共催し、また、環境エネルギー管理部と協働し、電力消費可視化システムの稼働やその分析などを通じて大阪大学の省エネ目標達成に貢献するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:ナノサイエンスデザイン教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、高度学際プログラムを拡充し、高度副プログラムを一部副専攻に移行させる、企業、学外教員も講師となる大学院生・社会人共通科目の土曜集中講義の「ナノテクノロジー社会受容特論」、ロードマップに関する「ナノテクノロジーデザイン特論」の内容及び討論時間を充実させるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、長期展望研究テーマ勉強会3テーマを新たに立ち上げ、8企業から延べ40名が参画するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大学院・社会人共通の土曜集中講座、遠隔講義システムを用いた社会人向け夜間講義を開催する、「スーパーサイエンスハイスクール指定校に対して2件の「一日研修」を行い、ラボ所有最先端機器による実習を本学にて効果的に実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、(社)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムより奨学寄付金を得たほか、ナノ高度学際教育研究訓練プログラムの自主運営経費の一部としてH25 教育研究等重点推進経費(未来戦略経費)を獲得するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、大学院生・社会人共通科目の土曜集中講義の内容及び討論時間を充実させたほか、スーパーサイエンスハイスクール指定校に対して2件の「一日研修」を行い、電子顕微鏡、電子線リソグラフィ、レーザー顕微鏡など、ラボ所有最先端機器による実習を本学にて効果的に実施するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:知的財産センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、社会人学生の学習環境の向上のため、新たに中之島センターの教室を借用したほか、教科書の出版やe-learningシステムを用いた教材の配布、復習問題等のコンテンツを充実させ配信を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国際知的財産シンポジウム（米国特許法改正と日本の対応）、知財法研究会設立記念10周年シンポ、国際知的財産シンポジウム（著作権制限の行方）などを企画・実施するとともに、韓国知識財産研究院（KIIP）と学術交流協定を締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、新たに開設した智適塾において、産学連携本部との連携のもと、知的財産法務支援サービスを開始するとともに、大阪発明協会の協力のもと、知的財産経営評価研究会を立ち上げ、企業の知的財産担当部門の活動評価等を行う基準について検討を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、情報共有ツールとして付箋サーバーシステムを設置し、知的財産センターの教員、事務、学生間の事務連絡を効率的に行うなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、社会人学生の学習環境の向上のため、新たに中之島センターの教室を借用するとともに、新たに中之島センターに開設した智適塾において、産学連携本部との連携のもと、知的財産法務支援サービスを開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:核物理研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、最先端の大型研究施設であるサイクロトロン実験装置において、教育用ビームタイムを割り当て、学部学生の教育を行ったほか、国際共同研究として、大学院学生7名を海外の大学、研究機関に派遣するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、サブアトムック科学推進事業およびサブアトムック科学拠点事業を継続して推進するとともに、医学系研究科及び理学研究科との連携により、加速器を用いた核医学診断・治療用放射性同位元素（RI）の生成・分離・合成・臨床に関する基礎研究を実施すると共に、核医学専用ビームラインを整備するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、アニュアルレポートをオンライン化したほか、「Hadron 2013」など各種国際会議を主催・共催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、電気使用量の削減、各種会議における資料等の削減、特に教授会では委員会報告を原則としてメールによる報告とすることで、大幅に資料を削減したほか、事務マニュアルを作成し、全教職員に周知徹底を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、最先端の大型研究施設であるサイクロトロン実験装置において、教育用ビームタイムを割り当て、学部学生の教育を行ったほか、サブアトムック科学推進事業およびサブアトムック科学拠点事業を継続して推進するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:サイバーメディアセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪大学CLEのモバイルデバイス対応機能、コミュニティ機能を全学展開し学習者コミュニティの形成を促進し、また、CMSの利用者支援を充実するために、講習会の実施、利用者への聞き取り調査等を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、部門横断型の研究交流を目的に全8部門による「全サイバーメディアセンターシンポジウム」を実施するとともに、大規模計算機システムの試用制度を設け、新規利用者を開拓するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、高校生のためのスーパーコンピューティングコンテストを東京工業大学と共同開催し、本選に出場した西日本のチームの支援を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、学生用webメールとしてSaaS型クラウドによる外部メールサービス（Office365）を平成26年3月に導入し、メール保存容量及び送信可能メール容量のアップを図るとともに、「OUMail」という愛称で、卒業後も引き続き利用可能なメールシステムを提供するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、大阪大学CLEのモバイルデバイス対応機能、コミュニティ機能を全学展開し学習者コミュニティの形成を促進したほか、学生用webメールとしてSaaS型クラウドによる外部メールサービス（Office365）を平成26年3月に導入し、メール保存容量及び送信可能メール容量のアップを図るなど、積極的に実施している。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:レーザーエネルギー学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、本学理学研究科が進めるグローバル30の本拠をセンター内に設置し、国際物理コースの学生を対象に10科目の英語講義を行うとともに、激光XII号レーザーおよびLFEXレーザーを用いた国際共同研究に学生も積極的に参加させ、国際的な研究を実習できる環境を提供するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、国内外関連研究機関と激光XII号レーザーやLFEXペタワットレーザーを用いた国際共同研究を進め、光・量子ビーム発生物理やレーザー宇宙物理、相対論核科学に関連した電子・陽電子生成に関する共同実験や、1キロテスラを越える超高強度磁場の発生など、世界的な研究成果を得るなど積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、先端研究施設共用促進事業実施機関の中で、レーザー関係2機関（本センターを含む）と放射光5機関からなる「光ビームプラットフォーム」を形成し事業を開始したほか、第8回慣性核融合科学とその応用に関する国際会議（IFSA2013）、第1回レーザーならびに加速器中性子源と応用国際会議（LANSA2013）を主催し、国際ネットワーク活動の拡大に努めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、ESCO事業をレーザーエネルギー学研究センターにおいて導入し、効率的な省エネルギーを推進するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、所外ホームページのリニューアル、運用を開始し、共同利用・共同研究のページを始め、学生向け、一般者向けにも見やすいホームページへ更新するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、国内外関連研究機関と激光XII号レーザーやLFEXペタワットレーザーを用いた国際共同研究を進め、世界的な研究成果を得たほか、ESCO事業をレーザーエネルギー学研究センターにおいて導入し、効率的な省エネルギーを推進するなど積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:免疫学フロンティア研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、基礎セミナー「免疫のしくみ：病気と感染」の開設、デュアルメンター制度による分野の異なる研究者をメンターとする若手研究者に対し異分野融合研究推進のための経費支援の継続など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が文部科学大臣表彰・大阪科学賞を受賞し、文化功労者に選出されるなど、成果が上がっている。 また、気鋭の免疫学者・イメージング研究者を招き、国際シンポジウム“Towards Comprehensive Understanding of Immune Dynamism 2013”を内閣府最先端研究・開発プログラム審良プロジェクトと共同で開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、シンガポール免疫ネットワーク（SiGN）との共催による「NIF Winter School on Advanced Immunology」を淡路島で開催し、若手研究者・学生の研究交流を行ったほか、岸本基金フェローシップ・スカラシップ、若手研究者海外派遣支援プログラム等の各種支援プログラムによる研究者交流を推進するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、動物実験施設、中央実験室等の利用者マニュアル、様式等の英訳を進め、外国人研究者への周知徹底を図るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、所属教員が文部科学大臣表彰・大阪科学賞を受賞し、文化功労者に選出されたほか、岸本基金フェローシップ・スカラシップ、若手研究者海外派遣支援プログラム等の各種支援プログラムによる研究者交流を推進するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:全学教育推進機構

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、全学教育推進機構の大学院横断教育部門を人的に強化し、大学院横断教育部門の下に新たに「大学院横断教育検討会」を設置し、大学院副専攻プログラム、大学院高度副プログラム、高度教養プログラムの企画を行う体制を整えた。また、学部学則および大学院学則において副専攻、副プログラムに関する規定を明文化した。さらに講義映像自動収録配信システムのディスクを増強し、新たに全学教育推進機構の12の教室などに講義映像収録配信システムを導入するなど、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、実効性のあるサバティカル制度となるよう、制度に関する申し合わせの一部改正を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、GLOCOLウェブサイト内に学生用メンバーサイトを立ち上げ、GLOCOLが提供する海外体験型教育プログラムの情報提供に加え、国際機関等のインターンシップ募集状況についても情報提供を行う仕組みを構築するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、昨年度開講した基礎セミナーを基盤とするショセキカプロジェクトについてプレスリリースを行った結果、各種メディアに活動内容が紹介されるなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、新たに「大学院横断教育検討会」を設置し、特に大学院横断教育の拡充に貢献したことは、大学の実績として高く評価される。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:学際融合教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、大阪大学、東京大学、筑波大学の3大学の教育プログラムを紹介する「主専攻に準ずる専門領域の獲得を目指す学際融合教育について考える－複眼的視野と学際的視点を涵養し、来るべき将来を構想する力を身につける－」のテーマの学際融合教育シンポジウムを開催し、100名以上の参加を得るなど、成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、「学際融合教育事業の推進－学際融合教育研究センターの構築－」の事業報告書を作成し、3名の外部評価委員による外部評価を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
全体の項目に関する達成状況		【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、教育プログラムの企画、開発のほか、学際融合教育シンポジウムの開催など、学際融合教育プログラムの一層の充実に向けた取組みに積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:教育学習支援センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成25年度は、6月に教育学習支援センター（TLSC）が発足し、大学院生向けのプログラム「Transferable Skills ワークショップ」を開講した。講義室2室に、双方向授業応答システムを導入するとともに、同システムで使用するタブレット端末を導入するなど、新規科目の開発に着手したことは、大学の実績として評価できる。 また、25回のさまざまな内容のFDを行い約190名が参加した。とくにブレFDに関しては、東京大学大学教育総合研究開発センターと連携協力に関する覚書を締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画：11～17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画：18～30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成25年度は、6月にセンターを設立し、双方向対話授業の導入のためのシステム整備と科目の企画を行っていることは、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。